

01 小松島市（小松島市生物多様性農業推進協議会）

有機農業の拡大に向け、地域ぐるみで産地づくりや消費拡大を推進！



販売されている米の例

左：ツルをよぶお米（コープ自然派）
右：あいさいー楽米（JA東とくしま）



栽培講習会の様子



オーガニックライフスタイルEXPOでの小松島市産有機農産物のPR活動の様子



市内小中学校の学校給食で活用されている小松島市産の無農薬米

1. 地域の特徴と取組の背景

- 小松島地域はほ場整備事業を活用し、湿田の改良を図り、効率的な水田営農に向けた農地集積に取り組んできた。
- また、**地域の生態系を守るため**、環境に配慮した**有機農業を推進**し、**水稻栽培**における有機農業の取組が拡大した。
- 一方、農業者の高齢化と後継者不足が深刻な状況にあり、**新規就農者の育成**や**栽培技術の伝承**のほか、経営安定化に向けた**農産物の付加価値向上**や**消費者理解の促進**などが課題となっている。

3. 取組の成果

- 市内農業者14名が**特定環境負荷低減事業活動実施計画の認定**を受けた（全国2例目）。
- 有機栽培への転換を促す**有機栽培技術講習会**等を開催し、有機農業に取り組む**農業者を育成**した。
- 市内小中学校の給食への試行導入の取組により、実施に必要な費用が確認でき、**継続実施**に向けた検討につながった。

2. 取組の概要

- 生産
 - ・有機栽培技術講習会をはじめとした、各種講習会の開催
 - ・地元企業による**地域資源を活用した堆肥の製造・販売**
 - ・NPO法人による、**有機農業を志向する新規就農者の育成支援**
- 加工・流通
 - ・流通・販売業者等と連携した**小松島市産認証米のブランディング**（イベント等へのサンプル提供等）
- 消費
 - ・食育の推進や消費拡大を目的として**市内小中学校の学校給食**に、栽培期間中化学肥料及び化学合成農薬不使用の米を活用
 - ・**首都圏展示会**での小松島市産有機農産物のPR活動

4. 今後の展望

- 新規就農者の確保や慣行農業からの転換等により、**有機農業の取組農業者や取組面積の更なる拡大**を目指す。
- 事業終了後も、引き続き**市内小中学校への継続的な有機農産物等の提供**や「**オーガニックエコフェスタ**」等の啓発イベントを行い、消費者の理解・関心を高め、**有機農業が実践しやすい地域づくり**に取り組む。

問い合わせ先

小松島市生物多様性農業推進協議会（小松島市農林水産課 TEL：0885-34-9292）